



六郷

～元気に輝いて～

「秋まつり」を大成功させることができました！～生活科授業研究会（1年）～

12月11日に、1年松組・竹組合同で生活科の研究授業が行われました。今回は、授業の様子を南教育事務所指導主事やわくわく園の先生方にも見ていただきました。

【1年松組・竹組「たのしい あき いっぱい」】

学校のまわりで遊んだり、観察したりすることで、1年生は、秋の自然物に関心をもち、それらを遊び道具（おもちゃ）にして、秋を楽しむ活動「秋まつり」を進めてきました。これまで、2年生や3年生との交流を経て、今回は、わくわく園の年長さんをご招待しての「秋まつり」となりました。（インフルエンザで学校閉鎖があったために延期しての実施となりました）わくわく園の時に交流のある年長さんが来るとあって、1年生は、遊び道具を工夫したり、遊びのコーナーの準備をしたりと熱心に活動に取り組んできました。



はじめの会では、司会の子どもたちのはきはきした声やみんなの元気な歌声で、年長さんのわくわく感を高めることができました。4つの「遊び」のコーナーでは、年長さんが楽しめるように工夫された「自慢の遊び道具」を使って、一緒になって楽しむ様子が見られました。

小学校では1年生が一番下の学年ですが、年長さんが心配しないように手をつないであげたり、優しい声をかけてあげたりと、お兄さん・お姉さん役をこなす姿が大変立派でした。授業を参観していた先生方からは「相手意識がしっかりしており、1年生とは思えない！」という感想の声が聞かれました。年長さんを引率していた園の先生方からも、「優しいお兄さん・お姉さんで、園児が安心して活動できました。」「年長児にとって、あこがれの小学校生活がとても楽しみになるすばらしい活動でした。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。指導主事の先生からは、園で経験したことを生かしながら、相手意識をしっかりもって活動をしていた。活動を通して子どもたちの成長や変化が見られ感心したという講評をいただきました。

